

特集 ウィズコロナでのまちのうごき

10月11日

ながはら
長原ちさとさん

世界最優秀フロマジエコンクールで第3位



6月号の「旬の人」でご紹介した長原さん。チーズのプロフェッショナルとして日本最優秀フロマジエ選手権大会で日本一に輝き、駒を進めた世界最優秀フロマジエコンクールの舞台で「第3位」という快挙を果たし、町長に笑顔で報告してくれました。

世界大会は、7か国から9人の代表選手がチーズの本場フランスに集結し、チーズに関する知識・技術・スピーチなどの課題で世界最高峰を競いました。

長原さんは、「フロマジエという資格を生かして、今後は芽室町の魅力発信に貢献していきたい」と熱く語ってくれました。



6月号旬の人は
こちら(8ページ)

10月18日

しらかばがくえんこうとうがっこう
白樺学園高等学校

3年生の総合学習

「これから町の発展にはどのようなことが必要か?」



白樺学園では、「これから町の発展にはどのようなことが必要か?」をテーマに総合学習を実施しており、この日は、事前学習として町職員を講師に学習会が開催されました。「地域活性化とは?」「地方自治とは?」などのテーマを、クイズ形式を交えながら、町の現状・課題・ありたい姿を解説し、地域のこれから事を自分ごととして捉え、自分たちや仲間と一緒に何ができるか考えてみてほしいと呼びかけました。今後は、各クラスに分かれたグループワークが展開される予定で、高校生×議会×役場の三者の立場でまちづくりを真剣に考える時間となる予定です。

撮影時のみマスクを外していただきました。

10月10、11日

めむろちょうない
芽室町内

めむろ地産地消バスツアー



農業に触れ、地産地消の意識を高めてもらうことを目的として町が主催している地産地消バスツアーですが、今年度は観光物産協会が企画し、半日行程で行われました。今回は落花生栽培の藤井農場、ワイン用のブドウ栽培の菊地農場(フームミリオン)、ワイン醸造のめむろワイナリーを訪問。両日ともに定員を大きく上回る問い合わせがあり、大反響でした。

当日は心配されていた天気も何とか持ちこたえ、参加者の皆さんにとってよい思い出となったようです。

10月15日

ちゅうない ちゅうがくせい
町内の中学生

中学生の意見発表会



10月15日(火)、上美生中学校を会場にして、芽室町学校教育振興会主催の「令和3年度芽室町中学生の意見発表会」が開催されました。

自分の身近な生活体験や社会の問題など、日常生活の中でとらえた問題をテーマにして、町内各中学校の代表者9名が集まり意見を発表しました。発表後には、芽室ライオンズクラブ(白樺操会長)から記念の盾が贈られました。

あつまれ！18,172人！

まちのうごき

10月22日

えいまえだすずえ
榮前田すずえさん

100歳おめでとうございます



榮前田さんは農家の一人娘として生まれてから現在にいたるまでの100年間、芽室町で生活されております。

55歳の頃に始めた踊りを趣味としており、柏樹学園に入園してからは20年皆勤賞を貰うなど努力をおしまず継続し、現在も2月に開催される柏樹学園の学園祭に向けて、月3回の練習をしているとのことでした。

榮前田さん、これからもどうぞ元気におすごしください。

10月21日に100歳を迎えた榮前田すずえさん(弥生中央町)に、芽室町から感謝状と敬老祝金が贈呈されました。

10月19日

めむろにしちゅうがっこう
芽室西中学校

学校周辺ゴミ拾い



芽室西中学校(全校生徒数: 160名)による学校周辺のごみ拾い活動が行われました。開校30周年記念事業として、地域の良さや環境保全の大切さなどを学ぶ機会とすることを目的に実施されたもので、生徒たちは町内5か所に分かれて作業を行いました。1時間程度の作業で、付近の沢や道路から17袋(1袋は45リットル)のごみが回収されました。

11月1日

ふれあい交流館跡地

ふれあい交流館跡地の公共駐車場が完成



ふれあい交流館の跡地で工事をしていく公共駐車場が完成し、利用を開始しました。

カーポートとなっている駐車スペースは公用車専用となっておりますが、北側、西側の駐車場はどなたでもご利用いただけます。

また、西側のスペースは、芝生の養生中ですが、新たにみじが植えられ、来年にはのんびり過ごしていただけるスペースに生まれ変わることであります。

なお、役場庁舎周辺の外構工事は11月下旬完成、その後、利用開始の予定です。ご不便をおかけしますが、いましばらくお待ちください。

10月28日

だいいちめむろ店前

のうきげんないのうせいのうせいがいとうけいはつ

納期限内に納税を

納税街頭啓発



町、帯広地区のうぜいちょちくあいれん納税貯蓄組合連合会、帯広税務署3者による納ぜいがいとうけいはつ税街頭啓発が行われ、お買い物に来た方に「納きないのうせいいきよう期納税にご協力ください」と声かけをしながらエコバッグと資源ごみ袋のセットを配布しました。皆さまの税金は、公共施設や福祉をはじめとする公共サービスの提供、そして、よりよいまちづくりにとってなくてはならないものです。これからもご協力お願いいたします。

住民税課納税係では、毎月、夜間の納税相談窓口を開設しています。

撮影時のみマスクを外していただきました。



世界に羽ばたく フルート奏者に

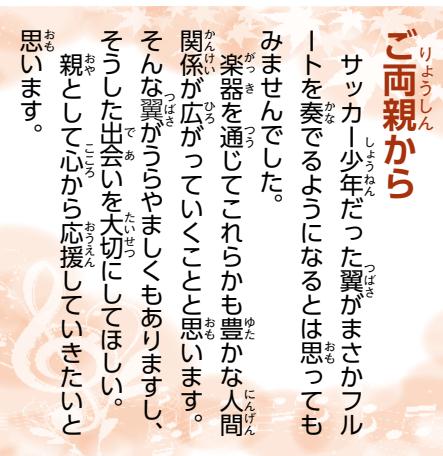


芽室中学校3年生
豊田 翼さん

フルートは歌
フルートは歌のようないいことを明確に表現できる楽器。オーディオストラの中でもフルートの音色一つでその印象はガラツと変わるもので、豊田さんは、自分が生まれ育つた環境が自分の音色にもいい影響を与えていているといいます。自分が心地よい演奏の両方を目指して日々、練習を積んでいるそうです。

フルートの音色に衝撃
豊田さんがフルートを始めたのは小学校5年生。オーケストラの演奏の中でフルートの音色を聴いたとき、こんなに美しい音色があるのかと感動したのがきっかけだそうです。
両親がともに音楽関係の仕事をしており、生まれたころから歌と音楽に囲まれて育った豊田さん。もともとピアノやチェロに取り組んでいましたが、フルートを始めてからはさりにメキメキと頭角を現し、中学生1年生で全国大会に出場、2年生にして、日本ジュニア管打楽器コンクール（フルート・ソロ部）で第1位となりました。3年生となつた今年は、先日開催された第2回東京国際フルートオーディションの中学生の部門で世界3位に輝きました。

音楽に囲まれて育つ
豊田さんがフルートを始めたのは小学校5年生。オーケストラの演奏の中でフルートの音色を聴いたとき、こんなに美しい音色があるのかと感動したのがきっかけだそうです。
両親がともに音楽関係の仕事をしており、生まれたころから歌と音楽に囲まれて育った豊田さん。もともとピアノやチェロに取り組んでいましたが、フルートを始めてからはさりにメキメキと頭角を現し、中学生1年生で全国大会に出場、2年生にして、日本ジュニア管打楽器コンクール（フルート・ソロ部）で第1位となりました。3年生となつた今年は、先日開催された第2回東京国際フルートオーディションの中学生の部門で世界3位に輝きました。



今日本の目標は、日本一と目標校の合格！
豊田さんは、もう一つ、日本クラシック音楽コンクールの全国大会も控え、2つの大会での日本一を目指しています。高校の合宿時に受験生の豊田さん。難関音楽の高校を目指し、猛勉強中です。

さつえいじ
撮影時のみマスクを外していただきました。